

全ての「社長のひとりごと」がWEBで読める!
『くぼかわよしみち.com』毎月20日更新!!

くぼかわよしみち.com

検索

Vol.100

2015 5月



サ高住は『ありがたい』

アサヒグローバル株式会社 代表取締役
ゴールドトラスト株式会社 代表取締役
ゴールドエイジ株式会社 代表取締役

文／久保川 議道
text:Yoshimichi Kubokawa

ホームページ

agg-hd.co.jp
asahiglobal.co.jp
global-mie.co.jp
super-chintai.com
goldtrust.co.jp
goldage.co.jp
kubokawayoshimichi.com

今私の母親86歳は『認知』が進んでいまして、グループホームに入居させていただいています。夜中も含めて24時間の見守りですから家族は凄く安心しています。本当は家でも暮らせる程度の認知ですが、私の家内が大病で入院して、退院しましたが自分も含めて母の生活の世話ができません。どこの家庭でも色々な事情があるものですね。

現在、日本の高齢者（65歳以上・3,395万人）は就業人口（15歳から64歳・7,682万人）の一人に一人となつてしましました。一人の高齢者を二人の大人が支える『担架型』です。しかし2050年頃にはこれが『肩車型』になり一人の高齢者を一人の大人が支える社会になるのです。世界で初めての日本の『超高齢社会』ですが、それは国家として成り立つか…（？）と世界中から注目されています。

私は10年前から施設ではない高齢者の介護サービスの付いた住宅の仕事をさせていただいていますが、これから超高齢社会を日本が乗り越えるためにはこの『サ高住が日本を救う』方法しかないと考えています。社員さん一人一人と高い目標を持つて努力している毎日ですが、家族の立場で感じること

は、専門の介護技術者（ヘルパーさん）と専門の介護設備（介護浴室や厨房や食堂）のある高齢者住宅は本当に『ありがたい』と感謝せざるを得ません。

といいますのは、先月から私の叔母さん97歳がゴールドエイジに入居させていただきました。私の母のお姉さんは97歳がゴリラエイジに入居させたことがあります。私は小さい時からこのおばさんに凄く良くしてもらつて、大変に世話をになりました。小学生の頃、自転車が欲しくても両親は買ってくれませんでしたが、このおばさんがおじさんに内緒でお金を出して私に自転車を買つてくれた時の嬉しさは、今も忘れませんね。

そのおばさんが家でこけて骨折して、一ヶ月以上入院して家に戻つてきました時は『寝たきり』で座ることも歩くこともできません。入院をすると高齢者の筋力は落ちて元に戻らないんですね。残念で悲しいことです。家族は働きながら寝たきりのおばさんの面倒をみていましたが、それはやはり無理なことでしたね。『家庭崩壊』と不幸な『親子関係』になつてしまふことは誰が考えても分かることです。私はそうなるまでにおばさんをゴールドエイジに入居していただきました。

私の母も叔母もこんなにお世話になつて、私達家族は『家庭崩壊』も『老老介護の苦しみ』も『仕事を辞める』とともに普通の生活をさせていただけるのは全てヘルパーさんのお陰ですね。しかし一番喜んでいるのは母や叔母本人じゃないでしょうか。助けていただいて、介護していただいて、そして『生きる尊厳』を守つていただいて一番幸せなのは本人ですね。

ということでサ高住が日本を救うのです。私はそう思つて全力で毎日の仕事に取り組んでいきたいと再度決心しているところです。

わくわく
夢



夢ニュース【高齢者住宅】

心
ゴールドエイジ白子
デイサービス!

白子のデイサービスは夕食まで利用できます。
デイサービスで後はゆっくりくつろいで寝るだけ、
ゆとりある生活が送られています。



2015

5月
No.100

